

JSCA 指導者検定会 (SUP ベーシック課程) ガイドライン
--2017 年度版--

- 資格名 SUP ベーシックインストラクター
- 必要単位数 SUP ベーシック課程 6 単位
- 受験資格 1) 受験する年の 4 月 1 日現在、18 歳以上の者
2) 下記の指定講習修了者 (講習修了書のコピーを提出)
【心肺蘇生法講習】 下記いずれかの講習：受験日より遡り 3 年以内の講習修了
 - ・ JSCA-CPR 講習
 - ・ 消防局：普通救命講習
 - ・ 日本赤十字社：救急法・基礎講習
 - ・ MFA ジャパン：成人救命救急法コース (MFA ベーシッククラス)
 - ・ 他、匹敵する講習、資格 (要問合せ)
- 受験に関わる費用
 - ・ 受験料 30000 円/2 日間 (総論免除者は 5000 円減額)
 - ・ テキスト代 SRP テキスト 6000 円 指導者検定会テキスト 6000 円 (2 冊同時に購入する場合の販売価格はそれぞれ半額とする)
 - ・ 事前講習会 15000 円/日
- SUP ベーシック課程 (6 単位) :
安全な指導をするに当たり、静水フィールドにおける必要かつ最低限の知識と技術を身につけているかを評価する課程。

1. 課目と内容

| 課目 | | 課題 | |
|----|----------------|---|---|
| 知識 | 1) 総論 | JSCA 活動について リスクマネジメント概要 SUP 活動概要 | ※カヤックベーシック またはまたは教養課程 6 課目修または了者は 受験免除 |
| | 2) 安全 | SUP 活動における安全管理 SUP 活動特有の傷病と応急処置 ※心肺蘇生法講習修了者を対象とした内容 | |
| | 3) SUP の基礎知識 | SUP 用具の基礎知識 フィールドの特性と潜む危険要素 技術分析と方法論 | |
| 技術 | 4) ボードコントロール技術 | 静水における基本的なボードコントロール ※ボードコントロール技術・課目詳細内容を参照 | |
| | 5) 指導技術 | 受験者同士による模擬講習形式での実習 ・ 初心者を対象とした陸上講習 | |
| | 6) 安全技術 | JSCA・SRP に準じた研修 ※知識の「安全」「SUP の基礎知識」と併せて「SRP 講習修了」と同程度の内容 | |

※判定の目安

□ 知識課目 1) ~ 3) : 90 分程度の講義受講後、30 分程度のペーパーテスト実施

・基本的な知識を身につけているか

□ 技術課目

4) ボードコントロール技術 : 「課目詳細内容」を参照

5) 指導技術 (模擬講習)

・基本的な内容を理解しているか

・安全に行っているか

・どのように伝えているか

6) 安全技術 : 研修修了

2. 評価と認定

担当検定員が各課目毎に 100 点満点で採点する。

「知識」課目は、全て 75 点以上の時に 5 段階評価で「A」以上とする。

「技術」課目は、各課目の採点結果を元に 5 段階評価をする。

「知識」「技術」ともに「A」以上の時、SUP ベーシック課程・6 単位を認定する。

尚、認定可否に関わらず、ベーシック課程を修了したものは、「JSCA・SRP 講習」修了者として認定される。

3. ボードコントロール技術・課目詳細内容

・フォワードストローク

*フォワードで直線を往復。戻ってくる時のターンは問わない。

スピードに乗っているか。リズムカルであるか。ローテーションができているか。キャッチができているか。

・スピン 2 種目

その場 (停止状態) で回転する

・パラレルスタンス (スウィープ、リバーススウィープ) 360° 左右 1 回転づつ

有効なパドリングができているか。

・サーフスタンス (スウィープ) 360° 左右どちらか 1 回転

重心位置を的確に移動しているか。有効なパドリングができているか。